

防護服支援プロジェクトー過疎の町とボランティア活動

東京神田ロータリークラブ 新 健一様
気仙沼つばき会副会長 小野寺 紀子様



東京神田ロータリークラブ 新 健一様

最初に私から防護服支援プロジェクトの説明、その後、気仙沼から ZOOM で小野寺紀子さんが卓話を致します。まず最初に、このプロジェクトを取り上げたテレビニュースをご覧ください。※動画視聴

始まりは、4月19日、友人からの1本の電話でした。東京都済生会中央病院で院内感染が発生し、簡易防護服、医療用のマスクが足りない状況で、事務員、看護師、手の動かせる患者まで動員し防護服を作っているが、GWには不足し、このままでは医療崩壊が起こるという内容でした。私の自宅が病院の近くにあり、自宅近くの麻布十番の商店街で作ってくれないかというお話でした。しかし、その頃東京は外出を自粛していましたので、気仙沼の方たちに協力を仰ごうと思いました。

私は、震災以降、仕事の関係で気仙沼や三陸に縁があり、さらに神田 RC は、震災2年後から今年度まで継続的に三陸沿岸の児童養護施設を支援、認可外の保育園には地区補助金を活用し支援をしました。そのような縁と人脈があり、気仙沼の人達であれば力になってくれると思い、小野寺さんに連絡しました。

簡易防護服は済生会の方々と仕様を詰め、それに縫製する方の意見を取り入れ、製作用のビデオを作り、誰でも同じものを作れるようにしようというのが最初の活動でした。

簡易防護服は700のポリ袋2枚と養生テープだけで出来ています。着脱しやすい今の形になるまで練りに練っています。病院の防護服は慣れないと手伝ってもらっても15分ぐらいかかります。自分ひとりで着られ、密着しているのでウィルスの侵入を防ぎ、脱ぐときも自分ひとりで表面に触らず脱げます。これがこの防護服の特徴です。

GWに間に合わせるために、仕様を詰める、資材の選定、寄付金口座の開設、寄付の募集等を1週間ぐらいでやり、4月27日には300着を済生会に届け、GW前には600着製作しました。気仙沼の皆さんのお蔭で済生会の医療崩壊は免れました。

このプロジェクトを気仙沼のHP、NHK 宮城や地元紙に掲載、気仙沼ニッティングの御手洗氏が毎日新聞全国版のコラムで取り上げ、製作ボランティアが全国に広がりました。

○プロジェクトの現況

11月20日時点の総送付数 66,340 着、支援医療機関・高齢者施設 151 施設。支援先は、東京都済生会中央病院、慶応義塾大学病院、都立広尾病院、他医師会、民間医療グループ、高齢者施設等など。製作ボランティアは 112 団体、個人 242 名（気仙沼ボランティアを除く）です。

今、第3波が到来している状況ですが、主たる医療機関は本格的な防護服が配布され足りていますが、地方は配布数は少なく、クラスター発生時に対応できるような数とはなっていません。一番の問題は、高齢者施設、障がい者施設、訪問介護事業者等には配布がなく、毎日使用するため使用数も多く、支援が必要です。簡易防護服は使い捨てであり、必要とされる用途があるので治療薬・ワクチンが出来るまでは可能な限り、活動は継続が必要となる可能性があります。

神田 RC にも何度かご寄付を頂きましたが、ご寄付は資材費・送料・検品や事務局のパート代に充当しています。10月の経費は今日支払いましたが12月の活動ができるかどうか、ぎりぎりの経済状態です。厚かましいお願いではございますが、ご寄付をお願いできればと思います。

気仙沼つばき会副会長 小野寺 紀子様 (オンライン)

2011年3月11日の大震災の時はお世話になりありがとうございました。今回のプロジェクトのお話を頂いた時は、震災の時の支援に対する感謝の気持ちと今回の支援させて頂けることに感謝する気持ちからお受けすることと致しました。



「気仙沼つばき会」は、もとは女性の経営者の会から始まりました。今は異業種や若手も加わり20代か70代の年齢層です。つばき会のモットーは「代替え案もないのにNOと言ってはいけない」で、今回も率先してお手伝いすることになり、新さんからお話しを頂いた3日後には活動を始め、今は製作ボランティアが全国に広がりました。

「気仙沼つばき会」の活動は、漁師さん達を応援しようと、「漁師カレンダー」を7年前から作って販売したり、「市場で朝飯」と銘打ち、市場で300人が朝食をとれる企画など、漁業と町おこしの融合の活動をしています。気仙沼は漁業と水産業に依存していると言っても過言ではない町ですが、漁師のなり手がなく若手の漁師を育てる活動もしております。また、漁師のための銭湯も経営者が高齢のため廃業となり、私たちが経営することになりました。

気仙沼は過疎化しています。自分たちが住みたい街を作るためには、ボランティア活動で町の課題を解決していかないと良い町にはならないという思いで続けています。

まだまだ簡易防護服は必要です。資材や送料の資金が不足していますので、ご協力頂けたらと思います。

創立 1993年10月13日(平成5年)
事務局 〒102-0073 東京都千代田区九段北1-2-2
グランドマンション九段906号
TEL: 03-3288-7300 FAX: 03-3288-7400
URL: <http://tokyo-orc.jp/>
E-mail: ocha-rc@sirius.ocn.ne.jp

例会日 水曜日 12:30~13:30
例会場 ホテルグランドパレス 千代田区飯田橋1-1-1
03-3264-1111
会長: 山下憲男 幹事: 木宮雅徳
会報委員長: 佐々木啓策
委員: 俣野・永井・西村・斉藤・高山・牛島・山田